

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上	写真・後藤
山行 NO. 1961		
日 時	2022 年 1 月 8 日 (土) 無風・晴れ	
山 域	伊豆・発端丈山(410m)北東尾根	
COURSE	長泉静銀駐車場 7:00-城山登山口 7:56-長瀬・熊野神社スタート 8:49-234m 9:31-四等三角点「一之洞」242.8m 10:12-三津からの一般道合流 10:21-発端丈山頂上 10:56 (昼休憩) ~下山開始 11:50-城山分岐 13:10-城山登山口駐車場ゴール 13:40-(一二三荘で入浴)-大仁駅前食事処「たけ」食事会 16:00-(下土狩満貫で 4 名 2 次会 20:30 解散)	
標高差	上り 長瀬 50m~発端丈山 410m=360m (累計標高差=約 534m) 下り 発端丈山 410m~城山登山口約 30m=380m	
藪漕度	上り ややあり 下り なし	
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<b>今年も、やっぱりバリエーションで始まった</b>		
参加者	登山：後藤、加藤、勝又、合谷、井上=5 名 食事会のみ：星、峰田、伊藤=3 名 (合計 8 人)	

2022 年の初登山。計画書の標高差は 360m なので、1 時間くらいの軽いハイキングと思っていたが、ハイキングは三津からの一般道に入ってからのもので、なんのことはない、いつものバリエーションが待っていた。

長泉下土狩の静銀駐車場で集合し、裾野駅から電車で行く合谷さんを下土狩駅でピックアップ。城山登山口には 4~5 台駐車していた。ここから約 4km の道路歩き。狩野川の堤防を歩き、葛城山のロープウェイの下をくぐる。この時間でも多少は利用者があるのか、カラカラと動いていた。何でも勝又さんの孫が好きで、先日も乗りに来たという。

長瀬までの途中に「ピオーネ発祥の地」の看板があり、ここで品種改良したようだ。へえー。53 分も登山靴でアスファルト道路を歩くが、合谷さんが買った高級おせちや自家製原木シイタケがうまいなど、話をしながら歩くと時間がたつのは早い。



長瀬集落で「発端丈山ハイキング入口」の看板があり左折。しかし、我々が行くのはコースではない。尾根の先端にある「熊野神社」の裏左脇を通って登り開始。長瀬川の北西に延びる尾根が今回のルートで、道がないわけではないが、ほぼ歩かれていないようだ。落ち葉の下の土は緩く、気を付けないとずり落ちる。急登、直登、倒木、とまあ、いつものことです。

冒険心があおられ、ジャングルの中を突き進む森林レンジャーにでもなった気分だった（そんな気になるような森）。人工物と思われる遺跡らしきものを発見。9:20、・234m 点到達と思ったが標高185mの小ピークだった。9:31、・234m 到達。



熊野神社



遺跡

三角点 242.8mの手前の230mのピークで細尾根は一旦南に曲がるがそのまま尾根の形につられて10mほど下ってしまった。このまま進むと下り続けるのでおかしいと思い、合谷さんがスマホで確かめると間違っていたことが判明。

南に折れた尾根のピークの右手（西）にわずかな尾根が発生しており曲がるべきだった。事前の地図読みの大切さを新年早々改めて感じた。ここはトラバースで難なく予定のルートに戻れた。トラバースした場所にはしっかりと踏みあとがあり、多くの人がここでルートを修正したのではないかと想像した。

四等三角点「一之洞」を確認。三角点は、円形の金属製で、「四等三角点」と刻まれていた。（点名は、下山後、GPSで確認）。少し下って三津からの一般登山道に合流。道がちゃんとしている



山頂直下

ので気楽に歩けるようになった。先頭に加藤さんのペースが速く、いい感じで汗が吹き出し、今日のビールがうまい予感がする。2016年に会に入ったころのスピードだ。あの頃は、他の登山者に抜かれることはなく、抜かしたグループの数が話題だったが、今は抜かれることが多い。

後藤さんが早すぎると指摘し先頭を変わりいつものペースに戻った。時折雪が残っているのを見る。発端丈山頂上手前で、仰ぎ見ると山頂に青空が広がる。発端丈山頂上は視界が開けており、360度の展望だ。富士山は雲の中だったが、海が鮮やか。

雲はあるが風はなくいつまでもいられる。湾が閉じて見えるので大きな湖のようだ。座るのにちょうどよい石や木があり、輪になって昼食をとった。本当の新年会は下ってからだが、まずは新年の乾杯。加藤さんがめずらしくビールを持ってきて、すきっ腹に飲んだので、一気に回って真っ赤になり、いつになくおとなしくなってしまった。

加藤さんはいつも後藤さんに「加藤さんはいつも否定から入る」といわれており、今年は「肯定する女」になる宣言をした。コウテイの女なので「女帝」だというとうけた（もともと会の女帝だとおもっているが）。下りでは、残雪を見ては「雪渓だ、合谷さん、アイゼン！」とふざけた。合谷さんは用心深くアイゼンを持ってきていた。

城山分岐。昔、ここにザックをデポし、男衆が一斉に城山頂上まで走った。心臓が爆発しそうだった。城山の岩に何人かとりついていて。毎度、よくやるなあと感心する。

城山登り口の駐車場に到着。4時の新年会の時間まで「一二三荘」の温泉に入る予定だが、それも早いので、大仁神社裏の大仁梅林に行くことにした。神社の入口の手水は、50 cmくらいの大き



山頂



何処かの方

なアユの口から水が流れている。横には「アユの友釣り発祥の地」とある。今日は発祥の地が多い。神社の屋根が立派だ。若くきれいな「女性神主」が現れた。最初、女性だから「巫女」と思ったが違った。聞けば、しっかり資格を取ったそうだ。

ふと貼り紙を見ると、私以外の男衆は今年「死線」だとのことで、お祓いがいるのではないかと話していた。神社裏の梅林では紅梅と黄色の蠟梅（ろうばい）が何本か咲いていたが、梅林全体が満開になるには程遠い感じだった。梅林の坂を上るにも登山で疲れた太ももが効いている。梅の木に人の名前や「予約」と書かれた札がかかっている。なんだろうか。



女性神主



紅梅

「一二三荘」に行くと、駐車場はいっぱいだった。温泉に入れる人数を5人に制限しており、男風呂は順番待ち、女風呂はすぐに入れるとのこと。一旦、一二三荘以外の温泉を探したが、値段が高かったので順番を待って一二三荘で入ることにした。

「一二三荘」は日帰り温泉 400 円と格安。男衆 4 人は一度に入れなかったが、他の客が出てから順に入り、一緒に入ることができた。お湯が熱く、後藤さんが水で薄めていた。私は、バリエーションルートで右足すねに倒木の枝でけがをしたので足をお湯につけないようにして入った。

食事処「たけ」に着くと、電車で来た峰田さんと伊藤さんが待っていた。しばらくして星さんが車で到着。4時に予約したが店は鍵がかかっている。他の客も並び始めた。しばらくして、店の主人がひょっこり現れ、「4時から4時半で来ると言っていたので、4時には来ないと思った」と勝手なことを言っている。

料理は税込み一人 1500 円で、小鉢、刺身、アジフライ、串カツ、鳥のから揚げ。刺身のマグロがうまい。揚げたてのアジフライもうまい。去年の反省と今年の抱負を順に発表。最後に中トロマグロどんぶりを何人かが注文しおわり。下土狩につくと、満貫で一杯やって解散となった。

ここから、参加者の発言（着席位置による発言順）

#### 1. 合谷

去年は車をプリウスから 600 万の SUV に乗り換えた。プリウスは狭く山向きではないのでアウトドア向きの車を買った。また、テントも買ったがまだ自分で使っていない。75 歳までに今の家を処分して違う場所で賃貸に住む。70 歳までに行動する。今の家は、加藤さんに譲る（笑）。今年はずっとアクティブに。まず、スタッドレスタイヤを買う。若いころに一度やった、北海道一周を夏にやりたい（女衆が一斉に同行に立候補）。お金には困っていない（いつも山の会で言われている）ので、いいホテルにも泊まってみたい。老け込まないようにしたい。

#### 2. 井上

去年は、八ツ横岳杣添尾根で、下山中に足を痛めて遅れ、皆さんに迷惑をかけた。特に勝又さんにはお世話になった。6 月は富士山に登頂するも、下りの体力がなくなり苦労した。10 月は富士山を 9 合で撤退。12 月は八ツ権現岳天女山口を悪天候のため前三ツ頭で撤退した。今年はいずれもこれを克服したい。



食事会

3. 星

昨年の能郷白山では急登で蛇が多くてもういいという気持ちだったが、高岡さんが頑張っていると思い自分も頑張った。

4. 伊藤

今年は、春ごろから時間をかけてぼちぼち低い山からやる。月2回行きたい。

5. 加藤

2021年は全て満足している。厳しい山の厳しさを当たり前ととらえた。厳しさが好きなので満足。ルートファインディングが好き。道を見つけるのが好き。富士山にひと月に3回登った。今年はぼっちキャンプ。合谷さんが朝おきたら、朝ご飯を出してあげる。昨年と違う山、違うルート。めんどくささを楽しむ。まだ、挑戦をする。

6. 峰田

昨年は山に行けなかった。2年連続で、正月の箱根駅伝のゴールまで歩いた。朝8時に出発し、12時に到着。帰りはバス。娘家族が、旦那さんの転勤でフランスパリ郊外に2年の海外生活となった。パリに行けたらいいな（コロナで難しいかも）。

7. 勝又

昨年は、年の初めと終わりの冬期に参加したが、真ん中の夏は行けなかった。乾徳山では、先に行った人が見えなくなるほど遅れたのは初めてだった。

8. 後藤

昨年は無事故でよかった。新しい山に行きたい。バリエーションも頑張りたい。6月は東北の未踏の山。山岳スキーも更に極めたい。今年も無事故行こう。



大仁神社

地理院地図  
GSI Maps

